

Trunk Impairment Scale(TIS)

検査者：

氏名： 評価日： 年 月 日 (右 ・ 左) 麻痺

・開始肢位はすべて同じで、患者は背もたれやひじ掛けのないベッドや台の端に座る。大腿は完全につけ、足部は腰幅で床に全面接地させる。膝関節は90度とし、上肢は大腿の上に載せる。もし過緊張があれば片麻痺の上肢はその位置が開始肢位として設定され、頭部と体幹は中間位とする。

- ・もし患者の得点が最初の項目で0点であれば、TISの全得点は0点となる。
- ・テストの各項目は3回行うことができ、最も高い得点が採点される。事前に練習は行わない。
- ・患者は施行感到訂正されても良い。
- ・テストは患者に口頭で説明し、必要に応じて実演して行う。

項目	静的座位バランス	スコア	
1	【開始肢位】	0：患者が転倒する、または 上肢の支持なしで10秒間開始肢位を保持できない 2：患者は10秒間開始肢位を保持できる ※もし0点ならばTISの合計点は0点となる。	
2	【開始肢位】 検者が非麻痺側下肢を麻痺側下肢の上に組ませる。	0：患者が転倒する、または 上肢の支持なしで10秒間座位を保持できない 2：患者は10秒間座位を保持できる	
3	【開始肢位】 患者が非麻痺側下肢を麻痺側下肢の上に組む。	0：患者が転倒する 1：患者はベッドや治療台上の上肢の支持なしでは下肢を組めない 2：患者は下肢を組むが、体幹が10cm以上後傾する、もしくは手で下肢を補助する 3：患者は体幹の偏移や上肢の補助なく下肢を組む	

静的座位バランスの合計 /7点

項目	動的座位バランス	スコア	
1	【開始肢位】 患者は麻痺側の肘でベッドや治療台に一度触れ(麻痺側を縮め非麻痺側を伸ばす)、開始肢位に戻るよう指示される。	0：患者が転ぶ、いずれかの上肢の補助を必要とする、もしくは肘がベッドや治療台に触れない。 1：患者は能動的に補助なしで動き、肘がベッドや治療台に触れる ※もし0点ならば項目2、3は0点となる。	
2	項目1を繰り返す	0：患者は短縮/伸張が行えない、もしくは反対側の体幹を短縮/伸張させる 1：患者は適切に体幹を短縮/伸張させられる ※もし0点ならば項目3は0点となる。	
3	項目1を繰り返す	0：患者は代償する。可能性のある代償動作は ①上肢の使用、②反対側の股関節外転、③股関節屈曲(もし肘が大腿の半分の長さより遠位のベッドまたは治療台に触れた場合)、④膝関節屈曲、⑤足部の移動 がある。 1：患者は代償無しに動く	
4	【開始肢位】 患者は非麻痺側の肘でベッドや治療台を触り(非麻痺側を縮め麻痺側を伸ばす)、開始肢位に戻るよう指示される。	0：患者が転ぶ、いずれかの上肢の補助を必要とする、もしくは肘がベッドや治療台に触れない。 1：患者は能動的に補助なしで動き、肘がベッドや治療台に触れる ※もし0点ならば項目5、6は0点となる。	
5	項目4を繰り返す	0：患者は短縮/伸張が行えない、もしくは反対側の体幹を短縮/伸張させる 1：患者は適切に体幹を短縮/伸張させられる ※もし0点ならば項目6は0点となる。	

6	項目4を繰り返す	0：患者は代償する。可能性のある代償動作は ①上肢の使用、 ②反対側の股関節外転、③股関節屈曲(もし肘が大腿の半分の長さより遠位のベッドまたは治療台に触れた場合)、 ④膝関節屈曲、 ⑤足部の移動 がある。 1：患者は代償無しに動く	
7	【開始肢位】 患者は麻痺側の骨盤をベッドや治療台から持ち上げ(麻痺側を縮め非麻痺側を伸ばす)、開始肢位に戻るように指示される。	0：患者は短縮/伸張が行えない、 もしくは反対側の体幹を短縮/伸張させる 1：患者は適切に体幹を短縮/伸張させられる ※もし0点ならば項目8は0点となる。	
8	項目7を繰り返す	0：患者は代償する。可能性のある代償動作は ①上肢の使用、 ②同側の足部で床を押す(踵が床から離れる)がある。 1：患者は代償無しに動く	
9	【開始肢位】 患者は非麻痺側の骨盤をベッドや治療台から持ち上げ(非麻痺側を縮め麻痺側を伸ばす)、開始肢位に戻るように指示される。	0：患者は短縮/伸張が行えない、 もしくは反対側の体幹を短縮/伸張させる 1：患者は適切に体幹を短縮/伸張させられる ※もし0点ならば項目10は0点となる。	
10	項目9を繰り返す	0：患者は代償する。可能性のある代償動作は ①上肢の使用、 ②同側の足部で床を押す(踵が床から離れる)がある。 1：患者は代償無しに動く	

動的座位バランスの合計 /10点

項目	協調動作	スコア	
1	【開始肢位】 患者は開始肢位で頭部を固定したまま、初めに麻痺側を動かし、上部体幹を6回(各膝を3回ずつ前方に出すように)回旋させる。	0：麻痺側が3回動かない 1：回旋は非対称である 2：回旋は対称である ※もし0点ならば項目2は0点となる	
2	6秒以内に項目1を行う	0：回旋は非対称である 1：回旋は対称である	
3	【開始肢位】 患者は上部体幹を開始肢位で固定したまま、初めに麻痺側を動かし、下部体幹を6回(各膝を3回ずつ前方に出すように)回旋させる。	0：麻痺側が3回動かない 1：回旋は非対称である 2：回旋は対称である ※もし0点ならば項目4は0点となる	
4	6秒以内に項目3を行う	0：回旋は非対称である 1：回旋は対称である	

協調動作の合計点 /6点

Trunk Impairment Scale の合計点 /23点